

所属 歯科衛生科		職名 教授	氏名 後藤 仁敏	
教育活動				
教育実践上の主な業績		年 月 日		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）				
講義における授業の工夫		2003年～2011年	歯科衛生科の人体解剖学、組織・発生学、口腔解剖学、生物学、歯学部歯の解剖学、文学部文化財学科の文化財各論5（自然人類学）の講義において、スライドとプリントにより学生の理解の向上に効果をあげた。	
PowerPointスライドによる講義の工夫		2005年～2011年	歯科衛生科の人体解剖学、組織・発生学、口腔解剖学、生物学、歯学部歯の解剖学、文学部文化財学科の文化財各論5（自然人類学）の講義において、PowerPointを使用したスライドを作成し、学生の理解を向上させた。	
解剖学・組織学実習の実践		2007年～2011年	新しくもつた解剖学・組織学実習において、歯学部の解剖実習室および顕微鏡実習において、骨格・解剖・組織標本を観察させることにより、学生の解剖学、組織・発生学、口腔解剖学の理解を向上させた。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
歯の比較解剖学、共著		1986年6月	歯の比較解剖学、共著、医歯薬出版、後藤仁敏、大塚司紀之 歯学部の歯の解剖学、歯科衛生科の口腔解剖学の教科書として使用した。	
頭蓋顔面の発生・正常と異常、共訳		1992年5月	頭蓋顔面の発生・正常と異常、医歯薬出版、後藤仁敏、江藤一洋 歯学部の歯の解剖学、歯科衛生科の口腔解剖学の教科書として使用した。	
新・ヒトの解剖、共著		1996年4月	新・ヒトの解剖、共著、築地書館、後藤仁敏、井尻正二 歯学部の人体解剖学実習の参考書、歯科衛生科の人体解剖学の教科書として使用した。	
歯のはなしなんの歯この歯、単著		2001年6月	歯のはなしなんの歯この歯、単著、医歯薬出版、歯科衛生科の口腔解剖学の教科書として使用。	
唯観論、単著		2008年2月	唯観論、単著、中央公論新社、歯科衛生科の生物学の教科書として使用した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
短期大学栄養士コースにおける解剖学生理学実験の試み		2001年4月	短期大学栄養士コースにおける解剖学生理学実験の試み、ポスター発表、日本解剖学会 第106回総会・学術大会、高知医科大学にて、単独	
4 その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動				
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）
著書				
古生物学各論第4巻脊椎動物	共著	1981年6月	築地書館	亀井節夫、後藤仁敏、大森昌衛
硬組織の起源と進化	共訳	1984年10月	共立出版	後藤仁敏、小寺春人
講座進化4形態学からみた進化	共著	1991年11月	東京大学出版会	坂井建雄、田隅本生、後藤仁敏ほか
岩波講座・現代医学の基礎3・人体のなりたち	共著	1998年11月	岩波書店	坂井建雄、瀬川彰久、後藤仁敏、田中重徳、堀口正治、馬場悠男、倉谷滋ほか
骨の事典	共著	2006年3月	朝倉書店	鈴木隆雄、林泰史、後藤仁敏ほか
からだの百科事典	共著	2004年10月	朝倉書店	坂井建雄、伊藤正裕、後藤仁敏ほか
咀嚼の事典	共著	2008年3月	朝倉書店	井出吉信、後藤仁敏ほか
論文				
ザメの歯の古生物学から人体地質学へ	単著	2006年3月	鶴見大学紀要(43号3部)	
ヨシキリザメの前部二重体5例の比較形態学的研究	共著	2008年3月	鶴見大学紀要(45号3部)	後藤仁敏、佐藤やす子
歯化石からみた軟骨魚類の進化	単著	2008年5月	遺伝(62巻3号)	
日本産の古生代魚類化石に関する一総括	単著	2009年3月	鶴見大学紀要(46号3部)	
生命の形態学作品集	単著	2010年3月	鶴見大学紀要(47号3部)	
愛媛県西予市の田穂層（三疊紀前期）産のリソドゥスの歯化石	共著	2010年5月	地球科学(64巻3号)	田中猛、宇都宮聡
歯科衛生士教育における解剖学・組織学実習の試み	共著	2011年3月	鶴見大学紀要(48号3部)	清田法子、石井真奈美、歯科衛生科実習助手一同
学会等および社会における主な活動				
1992年4月～現在に至る	歯科基礎医学会評議員			
1993年7月～現在に至る	日本解剖学会評議員			
1995年6月～1999年5月	化石研究会会長			
1998年10月～現在に至る	鶴見大学紫雲会理事			
2000年4月～2004年3月	人類形態科学研究会運営委員長			
2001年4月～2003年3月	日本地質学会古生物部会長			

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	小倉 美恵子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 英語I, II		2005年～現在	保育科では、保育の現場でのコミュニケーションに役立つ保育の英語を総合的に学ぶ。特に外国人の子供や保護者と係わる時に必要性が高いと思われる内容について学習する。また英語の童謡、童話についても触れる。 歯科衛生科では、歯科衛生の現場でのコミュニケーションに役立つ英語を総合的に学ぶ。歯科衛生と関連ある様々なトピックについて、読み、書き、話し、聞く運用練習を行う。		
2 作成した教科書、教材、参考書 情報機器を用いた教材の開発		2003年～現在	パワーポイントによるスライドの作成 インターネット上での音声分析と発音練習の環境の整備 コーパス分析のための言語資料のデータベース化		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 Corpus Analysis for Finding the Cues in Language Acquisition (Workshop on Multiple-Cue Integration in Language Acquisition, Univ. of Warwick, UK, Institute for Cognitive Science, France) Evolution of the Global Organization of the Lexicon (Seminar on Language, Evolution and the Brain, International Institute for Advanced Studies, Kyoto)		2002年 8月 2003年 8月 2007年 4月	Human Frontier Science Program より助成金を得て、Multiple-Cue Integration in Language Acquisition に関する国際共同研究 (Morten Christiansen USA, Nick Chater UK, Peter Dominey France, Mieko Ogura Japan) を行った。この研究から得られた知見を英語教育に応用できればと考えている。 現代英語からのデータに基づいて、単語間のやり取りを明らかにした。この研究から得られた知見を英語教育における語彙習得に応用できればと考えている。		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
Historical English Phonology: A Lexical Perspective	単著	1987年 2月	研究社		240頁
Dynamic Dialectology: A Study of Language in Time and Space	単著	1990年 2月	研究社		303頁
論文					
The Development of Periphrastic Do in English: A Case of Lexical Diffusion in Syntax	単著	1993年	Diachronica X:1		51頁～85頁
Lexical Diffusion in Semantic Change: With Special Reference to Universal Changes	単著	1996年	Folia Linguistica HistoricaXVI/1-2		29頁～73頁
Snowball Effect in Lexical Diffusion: The Development of ~s in the Third Person Singular Present Indicative in English	共著	1996年	English Historical Linguistics 1994: Papers from the 8th International Conference on English Historical Linguistics (John Benjamins)	Mieko Ogura, William W-Y. Wang	119頁～141頁
Dynamic Dialectology and Complex Adaptive System	共著	2004年	Methods and Data in English Historical Dialectology (Peter Lang)	Mieko Ogura, William W-Y. Wang	137頁～170頁
Ambiguity and Language Evolution: Evolution of Homophones and Syllable Number of Words	共著	2006年	Studia Anglica Posnaniensia 42	Mieko Ogura, William W-Y. Wang	3頁～31頁
Dynamic Dialectology and Social Networks	共著	2008年	English Historical Linguistics 2006 (John Benjamins)	Mieko Ogura, William W-Y. Wang	131頁～151頁
Evolution of the Global Organization of the Lexicon	共著	2008年	The Evolution of Language (World Scientific)	Mieko Ogura, William W-Y. Wang	243頁～250頁
学会等および社会における主な活動					
1971年 4月～現在	日本英文学会会員				
1973年 4月～現在	日本中世英語英文学会会員				
1981年 4月～現在	Linguistic Society of America会員				
1983年 4月～現在	日本英語学会会員				
1984年 4月～現在	近代英語協会会員（1989年 4月～1991年 3月 編集委員）				
2009年 1月～2010年12月	日本学術振興会科学研究費委員会専門委員				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	矢島 道彦
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1	教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		授業改善の一助として、平成21年度より「宗教学」などの授業にパワーポイントを導入した。		
2	作成した教科書、教材、参考書		以下のパワーポイント資料を作成した。宗教学 諸宗教（マニ教・ソロアスター教・ジャイナ教） インドの仏像 環境教育 本山一泊参禅会オリエンテーション その他		
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4	その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
Buddhist Thought and Culture	共著	2005年	Delhi: Originals	ed. By S. R. Bhat	251頁～273頁
仏教とジャイナ教	共著	2005年	京都：平楽寺書店	長崎法潤博士古稀記念論集刊行会	3頁～28頁
仏教の修行論	共著	2003年	東京：春秋社		33頁～45頁
論文					
Bhattakale upatthite: An Example of a "Mistranslation "in the Pali Canon	単著	2010年	Anusandhana (Ahmadabad)		12頁～17頁
「同事」について	単著	2008年	日本仏教教育学研究16		85頁～90頁
A Comparative Study of the Matanga-jataka and its Jaina Version	単著	2007年	鶴見大学仏教文化研究所紀要12		1頁～57頁
学会等および社会における主な活動					
	日本印度学仏教会会理事				
	仏教思想学会理事				
	日本仏教教育学会理事				
	パーリ学仏教文化学会理事				
	(社) シャンティ国際ボランティア会代議員				
	東京大学仏教青年会評議員				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	新井 松夫
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		平成23年 4月	1) 講義を平易に解説するために教科書を要約したプリントや資料の配布、パワー・ポイント等の視聴覚器材を使用し理解に努めている。授業中にフィードバックを行い、各単元終了時には歯科衛生士国試問題を実施し到達目標を計る。 2) 歯科診療補助実習書をベ・スに、実習項目ごとに実習助手と打ち合わせを行い指導要領を作成している。実習書は毎年改編し内容の充実を図っている。授業中はフィードバックを行うと共にパワー・ポイント等の視聴覚器材を使用し理解に努めている。実習項目ごとに小テストを実施し到達目標を計る。		
2) 歯科診療補助論A					
2 作成した教科書、教材、参考書		平成22年 4月	1) 歯科診療補助実習を行うに当たっての心構えや器械、器具、材料の名称と術式を学生に理解しやすくまとめた実習である。 2) 実習項目を設け、患者への対面・直接行為、介助行為、見学実習を区分させる。また、気が付いた事、診療の流れ、報告事項、考察等を記入させる。		
1) 歯科診療補助実習書 2) 歯科臨床実習（歯科診療所実習日誌）					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		平成22年 4月	昭和60年から今日に至るまで、本学歯科衛生科の専任教員として病理学、歯科診療補助論を担当している。また学外実習の歯科診療所を担当、実習日誌の作成、実習先の歯科診療所を個別訪問を行っている。さらに隔年ごとに実習先の院長と懇談会を開催し、意見交換している。現在、非常勤講師として新横浜歯科衛生士専門学校で病理学を担当している。		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
マイクロCTによる小窩裂溝充填材の観察	共著	平成17年 3月	鶴見大学紀要第42号第3部保育・歯科衛生科編	的場幸子	49頁～53頁
学会等および社会における主な活動					
昭和50年12月	鶴見大学歯学会会員				
昭和55年 4月	日本口腔衛生学会会員				
昭和60年 4月	鶴見大学女子短期大学部保健学会会員				
平成 6年 4月	歯科基礎医学会会員				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	加藤 保男
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 歯科保存学（保存修復学・歯内療法学）		1989年4月～2011年4月	歯の疾患や形態異常、また、歯髄疾患などの病的状態を治療し機能を回復するための診断、治療法、用いる器材・材料・薬品の名称及び使用法を理解させるために実際の臨床例を示しながら講義を行っている。近年は、学生に対する授業評価のアンケートを参考に、板書を少なくするために補助教材として自作のプリントを作成し配布している。		
2 作成した教科書、教材、参考書 歯科診療補助実習書		1990年4月～2011年4月	歯科診療補助実習を行うにあたっての心構えや器械・器具・材料の名称と術式を学生に理解しやすくまとめた実習書である。各項目の最後には重要なチェック項目を設け素早く理解させるようにしている。実習書は、毎年の反省点や学生の理解度を含め再評価を行い毎年改編し、新たに内容の充実を行っている。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項			昭和55年4月鶴見大学歯学部第3歯科保存学教室に入局、以来平成2年3月まで保存修復学の模型実習及び臨床実習を担当した。また、附属病院の保存科で臨床に従事し、その中で、コデンタルスタッフとの連携も経験してきた。平成元年4月より鶴見女子短期大学歯学部歯科衛生科の非常勤講師として歯科保存学の講義を担当し、平成2年4月より鶴見女子短期大学歯学部歯科衛生科の専任教員となり歯科保存学（保存修復学・歯内療法学）の講義と歯科診療補助論A（～）、歯臨床実習の講義・実習、卒業研究を担当している。		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
歯科医師・臨床研修医のための実践 歯科診療補助	共著	平成20年11月	医歯薬出版株式会社	高水正明、別部智司、加藤保男、他6名	4頁～9頁、96頁～97頁、106頁～107頁、122頁～127頁、132頁～143頁
論文					
歯科衛生科学生の歯科審美に対する意識調査	共著	平成15年3月	鶴見大学紀要第42号第3部	加藤保男、縄岡葉子、田中宣子	1頁～4頁
変色歯の治療法	単著	平成21年3月	鶴見大学紀要第46号第3部		9頁～17頁
学会等および社会における主な活動					
昭和55年4月～現在に至る	日本歯科保存学会会員				
昭和55年4月～現在に至る	日本歯科理工学会会員				
平成6年6月～現在に至る	日本歯科医療管理学会会員				
平成6年6月～現在に至る	日本接着歯学会会員				
平成10年4月～現在に至る	日本歯内療法学会会員				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	志村 文隆
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 栄養指導 小児歯科学 歯科診療補助論 A 歯科臨床実習		平成14年10月～現在まで 平成14年10月～現在まで 平成14年10月～現在まで 平成15年4月～現在まで	各自の調査数値による分類・計算演習を課している。小児の特徴、特殊な口腔状態、患児の取り扱い等に重点をおいている。実習書を基に項目毎に指導要領を作成している。理解度を把握するために確認テストを行う。過去に出題された歯科衛生士国家試験問題の検討を行い実力を養成する。実習前のオリエンテーションで基礎知識・技術の確認を行う。歯科診療所に16日間出向して歯科診療体系及び業務の理解や診療を円滑に行うための判断行動力を養う。		
2 作成した教科書、教材、参考書 歯科診療補助実習歯科臨床実習（歯科診療所実習日誌）		平成14年10月～現在まで	実習を行うに当たっての心構えや器械・器具・材料の名称と術式を理解しやすくまとめた実習書。各項目の最後には重要なチェック事項を設けて素早く理解させる。歯科診療所実習のための実習書の作成。項目を設けて患者への対面・直接行為、見学、練習を区分させる。詳細内容、気がついた事、診療の流れ、報告事項、考察など記入させる。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
歯科衛生士国家試験スビードチェック2011	共著	平成22年8月	医学情報社		
論文					
若年者の味覚異常に関する調査研究	共著	平成16年3月	鶴見大学紀要第41号第3部保育・歯科衛生編	的場幸子、新井松夫、田中宣子	63頁～69頁
若年者の味覚異常に関する調査研究-第2報-	共著	平成17年3月	鶴見大学紀要第42号第3部保育・歯科衛生編	的場幸子、新井松夫、加藤保男、田中宣子、濱野愛未	39頁～47頁
学会等および社会における主な活動					

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	前澤 真理子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1	教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）	平成22年4月17日	気になる子どもを学生にどのように教えるか。日本小児科学会総会にて発表、女子系大学小児科医会の事務局として、教育内容、方法の工夫を年に1回検討する会議の運営にかかわり、毎年、過去15年以上出席している。		
2	作成した教科書、教材、参考書	平成16年	0歳児・1歳児・2歳児のための乳児保育 2章乳児の発育7頁～34頁分担任執筆。光生館 第4章6節：子どもの慢性疾患「保育ライブラリ。子どもを知る。精神保健」北大路書房91頁～98頁		
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	平成15年	乳児救急看護講座(保健センター)		
4	その他教育活動上特記すべき事項	平成17年～現在まで	市町村保育士試験問題委員		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
精神保健の理論と実際	共著	平成19年	保育出版社	小林芳郎	158頁～162頁,203頁～206頁
論文					
最近の食と食育をめぐる	共著	平成18年	日本小児医事出版社、保育と保健	早川浩、小林昭夫、巷野 悟郎	20頁～25頁
学会等および社会における主な活動					
小児科学会会員および専門医	てんかん学会評議員 日本医師会認定産業医				
小児神経学会会員および専門医	文部科学省研究分担研究者				
小児神経学会評議員	厚生労働省研究分担者				
てんかん学会会員および専門医					
特許コード:P05P002060	熟性けいれんプラスの関連遺伝子変異と診断法の特許申請				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	宮田 孝義
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1	教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）	2003年4月～現在	情報処理において学生にパソコンを用いてポスター作成やプレゼンテーションをさせることにより、IT技術の向上に効果を上げている。		
2	作成した教科書、教材、参考書	2008年9月 2009年2月 2010年4月	歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック 医学書院 医学大辞典 第2版 新歯科衛生士教本「歯科補綴学」		
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	1996年8月1日	日本老年歯科学会にて「義歯清掃法に関する研究」と題して教育実践について研究発表。		
4	その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
歯科衛生士教本，歯科補綴学	共著	1993年4月	医歯薬出版	石橋寛二，川添高杉，岸正孝，長尾正憲，長岡英一，平井敏博，宮田孝義	82頁～106頁
スタンダード部分床義歯補綴学	共著	1997年8月	学建書院	藍稔，五十嵐順正，平井敏博，宮田孝義	28頁～40頁，96頁～114頁
セレクト部分床義歯	単著	2003年12月	学建書院		76頁
歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック	共著	2008年9月	学建書院	宮田孝義，三浦英司	71頁
論文					
バーチャルデンチャーの咬合採得	単著	1994年4月	補綴誌，38巻，255頁～256頁		255頁～256頁
学会等および社会における主な活動					
1971年6月～現在に至る	日本補綴歯科学会会員				
1991年4月～1997年3月	日本補綴歯科学会評議員				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	松田 裕子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） グループ学習		1977年～現在	担当の専門科目である歯科予防処置論、歯科保健指導論については、わかりやすくデジタル教材を使用し提示している。また、実習・演習の際は、グループ分けをして質問しやすくして実施し、技術の向上と理解を深めている。		
2 作成した教科書、教材、参考書 参考書 歯ブラシ辞典 共著		1998年～現在	学研書院 1989年出版 現在第5版 共著：松田裕子、麻賀多美子、遠藤圭子、近藤いさを 他		
参考書 口腔ケア健康ガイド 共著		2000年～現在	共著：松田裕子、阿部早苗、石川奈保美、石橋美穂子 他		
歯科予防処置論テキスト 共著		2004年～現在	D・サイト印刷 毎年改訂、編集		
歯科保健指導論テキスト 共著		2004年～現在	D・サイト印刷 毎年改訂、編集		
臨地実習帳 共著		2004年～現在	D・サイト印刷 毎年改訂、編集		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 講演		2008年8月18日	全国歯科衛生士教育協議会 平成20年度歯科衛生士専任教員講習会 歯科衛生学 「歯科衛生士総論」		
シンポジウム		2009年11月7日	第29回日本歯科医学教育学会学術大会 シンポジウム コ・デンタルスタッフ教育と口腔保健教育—これからの課題「歯科衛生士3年制教育カリキュラムの課題」		
4 その他教育活動上特記すべき事項 ポスター発表		2007年10月5日	第56回日本口腔衛生学会「アジア5か国と日本の大学生における歯科衛生士イメージ」 松田裕子 玉木裕子 中垣晴男 森田一三		
ポスター発表		2007年10月5日	歯科衛生科学生における食に対する認知と行動について		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
歯科衛生士最新教本 高齢者歯科	共著	2003年4月	医歯薬出版株式会社	全国歯科衛生士教育協議会監修	8巻・83頁～98頁
歯科衛生士のヒヤリ・ハット	共著	2006年3月	口腔保健協会	監修：松田裕子、鈴木俊夫 執筆：松田裕子、鈴木俊夫、柴田義朗、田村清美 他	監修、執筆
Clinical Practice of the Dental Hygienist Ninth Education E・M・ウィルキンズ著 翻訳	共著	2008年1月	医歯薬出版株式会社	校閲：石川達也、監訳布施祐二、真木吉信、松井恭平、崎崎昇 監修：全国歯科衛生士教育協議会	翻訳第3編12章及び15章 217頁～222頁 273頁～290頁
論文					
歯科衛生科学生における肥満度、自己体重の認識と食に関する教育の効果	共著	口腔衛生学会雑誌（第60巻第1号）	口腔衛生学会雑誌（第60巻第1号）	石川奈保美、松田裕子、岡村聡美、佐野祥平、荒川浩久	27頁～37頁
A私立大学2年生における歯科衛生士の業務の認知と健康度	共著	口腔衛生学会雑誌（第60巻第1号）	口腔衛生学会雑誌（第60巻第2号）	松田裕子、森田一三、高阪利美、外山敦史、中垣晴男、梅川正美	38頁～45頁
学会等および社会における主な活動					
1999年4月～現在	日本歯科医療管理学会・理事				
2003年4月～現在	全国歯科衛生士教育協議会理事				
2006年9月～現在	母と子のよい歯のコンクール 中央審査会審査委員				
2008年4月～現在	日本口腔衛生学会関東地方会倫理委員				
2009年4月～現在	日本歯科衛生学会幹事長				
2010年12月～現在	日本歯科衛生教育学会理事長				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	小澤 晶子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		平成14年～現在	歯科保健指導論、臨地実習においては、授業の担当者間で毎年度内容を検討した実習帳を作成し、演習・実習に取り組んでいる。実習帳では足りない内容に関しては、独自のプリントを作成している。また、実際の現場の様子、臨床での様子が把握しやすいように、ビデオやスライドを用いて視覚に訴える演習・実習を実施している。演習においては、事前に課題を出し、学生が自分で調べたことをもとにして、グループワークを行う方式を実施している。		
2 作成した教科書、教材、参考書 歯科保健指導論 臨地実習		平成14年～現在	歯科保健指導論（1年生前期・後期・2年生前期・3年生後期）の講義・演習・実習に使用する。 臨地実習（2年生後期・3年生前期）に使用する。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		平成19年3月 平成19年7月	論文：歯科衛生科学生の健康日本21に関する意識調査・3年間の教育後の変化。 小澤晶子、玉木裕子、松田裕子 発表：歯科衛生士養成短期大学における歯科診療補助実習の実態調査 大岡知子、小澤晶子他		
4 その他教育活動上特記すべき事項 スピードチェック歯科衛生士試験の執筆		平成15年～現在	スピードチェック歯科衛生士試験、共著、医学情報社、歯科衛生士国家試験を分析し解説した。		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
電動歯ブラシで歯を守る	共著	平成15年10月	医学情報社	新井 高・小澤晶子・渡辺孝章他	22頁～23頁
論文					
介助歯磨きにおける電動歯ブラシの応用・未経験者のブラーク除去率	共著	平成17年2月	日本障害者歯科学会誌(24巻1号)	小澤晶子、渡辺孝章、佐野孝子他	29頁～35頁
歯科衛生科学生の健康日本21に関する意識調査・1年間の教育後の変化	共著	平成18年3月	鶴見大学紀要(42巻3号)	小澤晶子、玉木裕子、松田裕子	15頁～23頁
介助歯磨きにおける電動歯ブラシの応用・ブラッシング時間の違いによるブラーク除去効果	共著	平成20年3月	鶴見大学紀要(45巻3号)	小澤晶子、渡辺孝章、佐野孝子他	89頁～93頁
歯科衛生科学生に対する障害児者教育について・入学時の障害者に関する意識調査	単著	平成21年3月	鶴見大学紀要(46巻3号)		1頁～8頁
歯科衛生科学生の障害児者に関する意識調査・障害者に関する世論調査との比較	単著	平成22年3月	鶴見大学紀要(47巻3号)		73頁～77頁
歯科衛生科学生の障害児者に関する意識調査・3年間の教育後の変化	単著	平成23年3月	鶴見大学紀要(48巻3号)		1頁～9頁
歯科衛生科学生の健康日本21に関する意識調査・中間実績値との比較	共著	平成23年3月	鶴見大学紀要(48巻3号)	玉木裕子、小澤晶子	25頁～32頁
学会等および社会における主な活動					
昭和59年3月～現在に至る	日本歯科保存学会会員				
平成10年9月～現在に至る	日本歯周病学会会員				
平成14年6月～現在に至る	日本障害者歯科学会会員				
平成17年4月～平成19年3月	全国短期大学歯科衛生士教育協議会 教育・研究連絡委員				
平成17年4月～平成19年3月	全国短期大学歯科衛生士教育協議会 理事				

所属	歯科衛生科	職名	教授	氏名	渡辺 孝章
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） デジタル教材の多用		平成13年4月～現在	これまで経験した多様な症例をデジタル化し供覧、臨床教育の教材としている。授業評価では、図と写真の提示により解りやすいがスライドの「送り」が速いと指摘を受けたことがある。		
2 作成した教科書、教材、参考書 新・歯科衛生士教育マニュアル「歯周病学」 共著		平成23年3月	歯科衛生士を目指す学生が学ぶ歯周病学について必要な知識を理解し易く写真や図を多用した教科書。国家試験出題基準にある用語について特に重点を置き編集してした。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 日本歯科医学教育学会における発表		平成21年10月6日	ポスター発表：「臨床実習における針刺し事故の実態調査と予防教育について」 渡辺 孝章、松田 裕子、玉木 裕子、中澤 千賀子、森田 操、吉田 好江 第28回日本歯科医学教育学会（広島） 附属病院実習（臨床実習）における針刺し事故予防のための教育方法について発表した。		
4 その他教育活動上特記すべき事項 臨床教育		平成16年9月～現在	3年制に改組後、歯学部附属病院口腔保健科外来にて歯科臨床の実践教育を行っている。		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
歯医者さんの待合室「歯ブラシの知識と上手な選び方」	共著	平成14年6月10日	クインテッセンス出版	渡辺一郎、渡辺孝章、新井 高	6頁～8頁 17頁～19頁
電動歯ブラシで歯を守る	共著	平成16年9月10日	医学情報社	新井 高、渡辺孝章、渡辺一郎、鈴木丈一郎、小澤晶子	398頁～402頁
新・歯科衛生士教育マニュアル「歯周病学」	共著	平成23年3月	クインテッセンス出版	渡辺孝章、田中昭男、上田雅俊、野村慶雄、勝也芳文、平井要、音琴淳一、鈴木丈一郎、栢豪洋、金子憲章、田中昌博、栢木宏介	12頁～13頁、100頁～113頁
ケース対応3ステップでみるブラークコントロールのテクニック	共著	平成23年3月	永未書店	新井 高、五味一博、鈴木丈一郎、渡辺孝章他	95頁～101頁
論文					
介助歴きにおける電動歯ブラシの応用－未経験者のブラーク除去率－	共著	平成17年4月	日本障害者歯科学会誌 第26巻1号	小澤晶子、渡辺孝章、石川 奈保美、佐野孝子、吉田 好江、吉川 京	29頁～35頁
シーラント適応歯における裂溝内容物の清掃に関する研究-歯科用レーザーの応用-	共著	平成21年3月	鶴見大学紀要、第46号 第3部	渡辺孝章、山口博康、小林一行	37頁～39頁
生物学的幅径 (Biologic Width) 確保のための歯周外科と歯周補綴について	単著	平成22年3月	鶴見大学紀要、第47号 第3部		91頁～94頁
臨床実習時における針刺し事故と感染予防教育について	単著	平成23年3月	鶴見大学紀要、第48号 第3部		33頁～36頁
学会等および社会における主な活動					
昭和54年4月～現在に至る	鶴見歯学会				
昭和54年6月～現在に至る	日本歯周病学会（平成6年4月～現在 評議委員）（昭和63年4月～平成2年3月会計幹事）日本歯周病学会認定歯周病専門医				
昭和54年6月～現在に至る	日本歯科保存学会（平成3年4月～現在 評議委員）				
平成9年4月～現在に至る	日本障害者歯科学会				
平成9年4月～現在に至る	鶴見大学短期大学部保健学会				
平成19年4月～現在に至る	日本歯科医学教育学会				
平成20年4月～平成23年3月	短期大学基準協会 第三者評価委員				
平成21年4月～現在に至る	日本歯科人間ドック学会 日本歯科人間ドック学会認定医				
平成21年4月～現在に至る	日本歯科用レーザー学会				

所属 歯科衛生科	職名 准教授	氏名 奥村 英司			
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 映像資料の活用 就職課と連携した授業		2009年～	歯科衛生科選択科目『社会学』において、映画等の映像資料を活用した授業を実施した。また同必修科目『人生と職業』では、就職課と連携して、自己分析・就職活動や進路選択の具体的な方法を指導した。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
王朝語辞典	共著	2000年 3月	東京大学出版会	秋山虔	500頁中7頁
物語の古代学	単著	2004年 9月	風間書房		300頁
論文					
愚劣なる隠者・朝山蜻一 論	単著	2005年 3月	鶴見大学紀要42号第1部		25頁～36頁
語りと内面描写・古代物 語形成史論	単著	2006年 3月	鶴見大学紀要43号第1部		23頁～35頁
隻眼の主人公・『蟲師』 「砂の魚」を読む	単著	2007年 3月	鶴見大学紀要44号第1部		315頁～323頁
平安日記文学における心 理描写	単著	2008年 3月	鶴見大学紀要45号第1部		
「東屋」巻の心理描写・ 『源氏物語』の「ここ ろ」の表現	単著	2010年 3月	鶴見大学紀要47号第1部		53頁～68頁
呪術の終焉・古代和歌の 心情表現	単著	2011年 3月	鶴見大学紀要48号第1部		29頁～42頁
学会等および社会における主な活動					

所属	歯科衛生科	職名	講師	氏名	玉木 裕子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
1) 歯科予防処置論			1) 実習内容を検討し作成した実習テキスト、プリントやスライドを用い基礎知識を深めさせ、小テストとフィードバックにより理解の確認をしている。実技においては小グループでの指導を行い実技試験、フィードバックにより臨床の場に対応できる手技を身につけさせている。		
2) 歯科診療補助論B			2) 視覚教材やプリント、スライドを用い、基礎知識を深めさせてから実習にて実技指導をしている。随時フィードバックを行なっている。		
3) 臨地実習			3) 歯科衛生教育実習にあたって、個別にシミュレーションを行い、充実した実習ができるようにしている。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
1) 歯科プラン事典、共著（学建書院）		平成14年10月	1) 共著者：麻賀多美代、岩崎典子、遠藤圭子、近藤いさを、境信、佐野孝子、玉木裕子、波多江道子、堀内由子、松田裕子		
2) 歯科臨床実習 の実習日誌・手帳、共著		平成17年～21年	2) 共著者：渡辺孝章、松田裕子、玉木裕子		
3) 歯科予防処置論のテキスト、共著		平成18年～毎年	3) 共著者：松田裕子、玉木裕子		
4) 歯科衛生士教育サブテキスト 臨地実習 H A N D B O O K、共著（クインテッセンス出版株式会社）		平成21年12月	4) 共著者：飯田恭子、石川奈保美、遠藤圭子、小田見也子、黒田千恵、小斎薫、高橋純子、玉木裕子、徳間みづほ、長島聡美、奈良とみ子、本田里恵、三澤洋子、溝口理知子、三橋千代子		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
1) 平成11年10月			1) 口演発表：青少年女子学生における顎関節異常について 玉木裕子、宮尾奈々、吉田美智子、渡辺孝章		
2) 平成17年11月			2) 口演発表：臨地実習（歯学部附属病院）の実践について 3年制教育に向けての実習方法の検討 玉木裕子、佐野孝子、清田法子、松田裕子		
3) 平成20年12月			3) 口演発表：視覚教材を用いたエックス線写真読影実習の検討 宮尾奈々、玉木裕子、松田裕子		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
全国歯科衛生士教育協議会 歯科衛生士専任教員講習会		平成21年7月	「歯科衛生学1」を担当し、指導案作成について指導した		
全国歯科衛生士教育協議会 歯科衛生士専任教員講習会		平成22年7月	「歯科衛生学1」を担当し、指導案作成について指導した		
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
口腔ケア健康ガイド 歯からはじめる健康学	共著	平成12年5月	学建書院	編集：松田裕子、共著者：阿部早苗、石川奈保美、石橋美穂子、田口千恵子、玉木裕子、原たつえ、藤原弘子、松田裕子	127頁～140頁、146頁～153頁、157頁～159頁
歯科医師・臨床研修歯科医のための実践歯科診療補助	共著	平成20年11月	医歯薬出版株式会社	監修：高水正明、共著者：高水正明、別部智司、加藤保男、山口博康、高瀬英世、中島丘、浅野倉栄、の場幸子、玉木裕子	54頁～79頁、152頁～156頁
論文					
生活行動から見た歯科保健の管理状況 口腔診査結果からの一考察	共著	平成7年6月	日本歯科医療管理学会雑誌 第30巻第1号	玉木裕子、松田裕子、小澤晶子、青柳優子、吉田淳子、大谷広明	52頁～58頁
臨地実習（歯学部附属病院）の実践について 3年制教育に向けての実習方法の検討	共著	平成18年6月	歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集 2005年度	玉木裕子、佐野孝子、清田法子、松田裕子	19頁～27頁
ヒューマンエラーと事故防止対策 日常生活におけるヒューマンエラーの認知的体験	共著	平成20年5月	歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集 2007年度	山崎忍、玉木裕子、松田裕子	59頁～65頁
歯科衛生士科の健康日本21に関する意識調査 中間実績値との比較	共著	平成23年3月	鶴見大学紀要 第48号第3部	玉木裕子、小澤晶子	25頁～32頁
学会等および社会における主な活動					
昭和52年4月～現在に至る	鶴見大学短期大学部保健学会会員				
平成6年5月～現在に至る	日本歯科医療管理学会会員				
平成16年2月～現在に至る	日本歯科医療管理学会関東支部学術大会準備委員会委員				
平成16年6月～現在に至る	日本歯科医療管理学会理事				
平成18年4月～現在に至る	日本歯科衛生学会会員				
平成18年6月～現在に至る	日本歯科医学教育学会会員				
平成18年7月～現在に至る	日本口腔衛生学会会員				
平成20年5月～現在に至る	全国歯科衛生士教育協議会教育委員				

所属	歯科衛生科	職名	講師	氏名	田中 宣子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 1) 歯科診療補助論A実習 2) 臨地実習		2009年	1) 歯科診療補助実習帳を基本に、実習項目ごとに実習助手との打ち合わせを行い指導要領を作成している。授業中にはフィードバックを行う共にパワーポイント等の視聴覚教材を使用し理解に努めている。実習項目ごとに小テストを行っている。 2) 小学校・幼稚園等での歯科保健教育実習の準備として個別でシミュレーションを行い、充実した実習になるようにしている。		
2 作成した教科書、教材、参考書 1) 歯科診療補助論A実習帳 2) 歯科臨床実習（歯科診療所実習日誌）		2009年4月1日	1) 歯科診療補助実習を行うに当たっての心構えや器械、器具、材料の名称と術式を学生にわかりやすくまとめた実習帳である。 2) 実習項目を設け、患者への対面・直接行為、介助行為、見学実習を区分させる。また、気が付いた事、診療の流れ、報告事項、考察等を記入させる。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		2009年4月1日	1984年から実習助手として、2009年4月から専任講師として歯科診療補助論A実習、臨地実習を担当している。また、学外実習の歯科診療所を担当、実習日誌の作成、実習先の歯科診療所に個別訪問を行っている。さらに、隔年ごとに実習先の院長と懇談会を開催し、意見交換している。		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
歯科衛生学生と他学科学士の歯科保健に関する意識と歯科保健行動について第1報	共著	1995年3月	保健つるみ第19号	田中宣子、新井松夫、木邑知義他8名	15頁～20頁
歯科衛生学生と他学科学士の歯科保健に関する意識と歯科保健行動について第2報	共著	1996年3月	保健つるみ第20号	田中宣子、新井松夫、木邑知義他9名	8頁～15頁
学生の歯科審美に対する意識調査	共著	2003年3月	鶴見大学紀要第40号	加藤保男、縄岡葉子、田中宣子	1頁～4頁
若年者の味覚異常に関する調査研究第2報	共著	2005年3月	鶴見大学紀要第42号	的場幸子、志村文隆、新井松夫、加藤保男、田中宣子	39頁～47頁
鶴見大学短期大学部歯科衛生科（保健科）卒業生の現状第2報就業状況と歯科衛生士業務内容および教育に対する意識調査	共著	2008年3月	保健つるみ第31号	田中宣子、佐野孝子、吉田好江、中澤千賀子、森田操、吉田美智子、石川奈保美、廣岡千鶴、吉川京、宮尾奈々、縄岡葉子、山崎忍、吉田真子、清田法子、松本康博	11頁～16頁
学会発表 中途障害者における電動歯ブラシの使用感に関する研究	共著	2010年9月	日本障害者歯科学会雑誌第31号NO.3 通巻第79号	小澤晶子、宮尾奈々、縄岡葉子、吉田好江、田中宣子他2名	516頁
現代日本人女性の歯の形態学的研究（5）	共著	2011年3月	保健つるみ第34号	田中宣子、後藤仁敬	37頁～54頁
学会等および社会における主な活動					
1982年～現在に至る	鶴見大学短期大学部 保健学会 会員				
2007年～現在に至る	日本歯科衛生学会 会員				
2010年～現在に至る	日本障害者歯科学会 会員				

所属	職名	講師	氏名	吉田 好江	
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） 臨床予備実習における形式的評価の実施		2003年～現在	臨床予備実習では、臨床予備実習である相互実習（スケールリング実習）において、自己評価票、指導者評価票、相互評価票を用いた形式的評価を実施することで、学生おのおの実習に対する動機づけを行い、意欲の向上に効果を上げている。		
グループワークの実施		2006年～現在	臨床予備実習BにおいてKJ法等を用いたグループワークを実施し、学生間での討論により気づきを促し、理解を深める工夫をしている。		
2 作成した教科書、教材、参考書 歯科衛生士のヒヤリ・ハットの事例と対策 共著		2006年3月	歯科衛生士のヒヤリ・ハットの事例と対策、共著、口腔保健協会 監修：松田裕子、鈴木俊夫 執筆：柴田義朗、鈴木俊夫、田村清美、山崎忍、吉田好江、大山静江、後藤君江、鈴木幸江、原久美子、原山裕子、米沢明子		
臨床実習テキスト 共著		2010年6月	臨床実習（2年生後期・3年生前期）に使用する。		
臨床予備実習テキスト 共著		2010年4月	臨床予備実習（1年生～3年生）の実習で使用している。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 歯科衛生士教育における臨床予備実習の形式的評価の取り組み		2006年6月	ポスター発表：第25回日本歯科医学教育学会 前盛好江、松田裕子		
学生の臨床実習におけるヒヤリ・ハットとその対策		2006年11月	ポスター発表：第1回日本歯科衛生学会 山崎忍、前盛好江、吉田真子、清田法子、玉木裕子、松田裕子		
歯科衛生業務とヒヤリ・ハット		2006年12月	口演発表：2006年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会 山崎忍、前盛好江、吉田真子、清田法子、玉木裕子、松田裕子		
歯科衛生士教育における臨床予備実習の形式的評価の取り組み～評価票活用法の検討～		2009年11月	ポスター発表：第28回日本歯科医学教育学会 吉田好江 松田裕子		
口蓋床による義歯の疑似体験学習の試み		2009年12月	口演発表：2009年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会 廣岡千鶴、山崎忍、吉田好江、玉木裕子、松田裕子、根本君也		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
歯科衛生士のヒヤリ・ハットの事例と対策	共著	2006年3月	口腔保健協会	監修：松田裕子、鈴木俊夫 執筆：柴田義朗、鈴木俊夫、田村清美、山崎忍、吉田好江、大山静江、後藤君江、鈴木幸江、原久美子、原山裕子、米沢明子	113頁～119頁
論文					
歯科衛生業務とヒヤリ・ハット	共著	2007年10月	2006年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集	山崎忍、前盛好江、吉田真子、清田法子、玉木裕子、松田裕子	1頁～9頁
鶴見大学短期大学部歯科衛生科（保健科）卒業生の現状 第2報 就業状況と歯科衛生士業務内容および教育に対する意識調査	共著	2008年3月	保健つるみ第31号	田中宣子、佐野孝子、吉田好江、中澤千賀子、森田操、吉田美智子、石川奈保美、廣岡千鶴、吉川京、宮尾奈々、縄岡葉子、山崎忍、吉田真子、清田法子、松本康博	11頁～16頁
介助歯磨きにおける電動歯ブラシの応用 ブラッシング時間の違いによるプラーク除去効果	共著	2008年3月	鶴見大学紀要第45号第3部	小澤晶子、渡辺孝章、佐野孝子、石川奈保美、吉川京、吉田真子、吉田好江、小澤正明	89頁～93頁
口蓋床による義歯の疑似体験学習の試み	共著	2010年10月	2009年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集	廣岡千鶴、山崎忍、吉田好江、玉木裕子、松田裕子	135頁～144頁
臨床実習時における針刺し事故の実態調査と予防教育について	共著	2011年3月	鶴見大学紀要第45号第3部	渡辺孝章、松田裕子、玉木裕子、吉田好江、中澤千賀子、森田操	33頁～36頁
高齢者理解のための義歯の疑似体験学習の試み	共著	2011年3月	保健学会誌「保健つるみ」第34号	廣岡千鶴、山崎忍、吉田好江、玉木裕子、松田裕子	7頁～13頁
その他					
北欧（フィンランド・スウェーデン）研修報告	共著	2007年3月	保健学会誌「保健つるみ」第30号	前盛好江、奥津正美、栗谷川玲、小宮志穂、武田清香	65頁～68頁
メルボルン大学歯学部口腔保健学科との交流	共著	2010年3月	保健学会誌「保健つるみ」第33号	後藤仁敬、吉田好江	44頁～48頁
中途障害者における電動歯ブラシの使用感に関する研究	共同	2010年10月	第27回日本障害者歯科学会学術大会	小澤晶子、宮尾奈々、縄岡葉子、吉田好江、田中宣子、小澤正明、関田俊介	ポスター発表
学会等および社会における主な活動					
2001年4月～現在に至る	日本歯科衛生士会会員				
2002年5月～現在に至る	日本障害者歯科学会会員				
2005年5月～現在に至る	日本歯科医学教育学会会員				
2006年4月～現在に至る	日本歯科衛生学会会員				
2007年7月～現在に至る	日本口腔衛生学会会員				
2011年4月～現在に至る	日本歯科衛生教育学会会員				

所属	歯科衛生科	職名	実習助手	氏名	中澤 千賀子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1	教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）				
2	作成した教科書、教材、参考書				
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4	その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書 最新歯科衛生士教 本 歯科予防処置論・歯科 保健指導論	共著	2011年 5月 1日	医歯薬出版株式会社	全国歯科衛生士教育協議会監修 著者高阪利美ほか	編 1.~3., 1.~3., 1.~3., 1.~3., 1.~3.
論文					
学会等および社会における主な活動					
1980年 4月 ~ 2000年10月	神奈川県歯科衛生士会役員				
2000年11月 ~	特定非営利活動法人神奈川県歯科衛生士会 理事				
2008年 4月 ~ 現在に至る	特定非営利活動法人神奈川県歯科衛生士会 副会長				
2004年 4月 ~ 2007年 3月	全国歯科衛生士教育協議会 教育委員				
2009年 1月 ~ 現在に至る	特定非営利活動法人日本咀嚼学会 評議員				

所属	歯科衛生科	職名	実習助手	氏名	森田 操
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1	教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）				
2	作成した教科書、教材、参考書				
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2004年7月 2005年7月 2007年12月	ポスター：歯科衛生士教育におけるOSCEワークショップ 第1報 ポストアンケート結果 森田操、立澤敦子、松田裕子、近藤圭子 ポスター：歯科衛生士学生の臨床前のOSCEについての検討 森田操、松田裕子、吉田好江 研究報告：鶴見大学短期大学部歯科衛生科（保健科）卒業生の現状 第1報 就業状況と歯科衛生士業務内容および教育に対する意識調査 森田操、中澤千賀子、佐野孝子		
4	その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
学会等および社会における主な活動					
1992年4月～1998年3月		神奈川県歯科衛生士会理事			

所属	歯科衛生科	職名	実習助手	氏名	吉田 美智子
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1	教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）				
2	作成した教科書、教材、参考書				
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	1994年11月12日 1995年11月11日 1996年11月9日 2005年6月25日	□演発表：歯科衛生科学生の喫煙習慣について予備的調査成績 □演発表：1994年度歯科衛生科第2学年生の喫煙習慣-特に記名式質問紙法の影響について- □演発表：本学歯科衛生科学生の喫煙状況について □演発表：本学歯科衛生科学生の喫煙習慣について-1995年度2004年度における質問紙調査成績との比較-		
4	その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
歯科衛生科学生の喫煙習慣について予備的調査成績	共著	1995年3月	鶴見大学短期大学部保健学会保健つるみ（第18号）	吉田美智子、島田義弘	64頁～68頁
1994年度歯科衛生科第2学年生の喫煙習慣-特に記名式質問紙法の影響について-	共著	1996年3月	鶴見大学短期大学部保健学会保健つるみ（第19号）	吉田美智子、島田義弘	30頁～36頁
本学歯科衛生科学生の喫煙状況について	共著	1997年3月	鶴見大学短期大学部保健学会保健つるみ（第20号）	吉田美智子、島田義弘	14頁～21頁
本学歯科衛生科学生の喫煙習慣について-1995年度と2004年度における質問紙調査成績との比較-	共著	2006年3月	鶴見大学短期大学部保健学会保健つるみ（第29号）	吉田美智子、玉木裕子	7頁～11頁
学会等および社会における主な活動					

所属	歯科衛生科	職名	実習助手	氏名	石川 奈保美
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
2 作成した教科書、教材、参考書					
臨地実習HAND BOOK：共著		2009年12月10日	真木吉信他監著 執筆：飯田恭子・石川奈保美・遠藤圭子・小田美也子・黒田千恵・小斎薫・高橋純子・玉木裕子・徳間みづほ・長島聡美・奈良とみ子・本田里恵・三澤洋子・溝口理知子・三橋千代子 歯科衛生科第2・3学年「臨地実習」参考図書		
口腔ケア健康ガイド：共著		2000年5月25日	松田裕子編集 執筆：阿部早苗・石川奈保美・多田美穂子・田口千恵子・玉木裕子・原たつえ・藤平弘子・松田裕子 歯科衛生科第2学年「歯科保健指導論」参考図書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
		2007年10月5日	ポスター発表「歯科衛生科学生における食に対する認知と行動について」 石川奈保美・松田裕子・岡村聡美・荒川浩久・佐野祥平（第56回日本口腔衛生学会）		
		2006年11月23日	ポスター発表「日本歯科衛生士会における歯科衛生士教育分野に関する研究の動向」 石川奈保美・藤澤雅子・田村清美・山田小夜子・中向井政子・木戸みどり・金井恵美子（第1回日本歯科衛生学会）		
		2003年6月28日	口演発表「本学学生の食生活行動の問題点について」 石川奈保美・松田裕子（第27回鶴見大学短期大学部保健学会）		
		2001年12月7日	口演発表「食生活行動の意識化を目的とした実習－学生の生活リズムと食に対する関心－」 石川奈保美・松田裕子（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会）		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
臨地実習HAND BOOK	共著	2009年12月	クインテッセンス出版株式会社	真木吉信他監著 執筆：飯田恭子・石川奈保美・遠藤圭子・小田美也子・黒田千恵・小斎薫・高橋純子・玉木裕子・徳間みづほ・長島聡美・奈良とみ子・本田里恵・三澤洋子・溝口理知子・三橋千代子	100頁～103頁
口腔ケア健康ガイド	共著	2000年5月	学建書院	編集：松田裕子 執筆：阿部早苗・石川奈保美・多田美穂子・田口千恵子・玉木裕子・原たつえ・藤平弘子・松田裕子	139頁～146頁、154頁～165頁
論文					
食生活行動の意識化を目的とした実習	共著	2001年8月1日	医歯薬出版株式会社（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集）	石川奈保美・松田裕子	50頁～60頁
食生活行動の意識化を目的とした実習－学生の生活リズムと食に対する関心－	共著	2002年7月31日	医歯薬出版株式会社（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集）	石川奈保美・松田裕子	22頁～29頁
本学学生の食生活行動の問題点について	共著	2004年3月15日	鶴見大学短期大学部保健つるみ第27号	石川奈保美・松田裕子	18頁～25頁
歯科衛生科学生における肥満度、自己体重の認識と食に関する教育の効果	共著	2010年1月	口腔衛生学会雑誌第60巻第1号	石川奈保美・松田裕子・岡村聡美・佐野祥平・荒川浩久	23頁～29頁
学会等および社会における主な活動					
1997年4月～1999年3月	社団法人 日本歯科衛生士会理事				
1999年4月～現在に至る	社団法人 日本歯科衛生士会 教育養成委員会 委員				
2009年4月～現在に至る	日本歯科衛生学会 企画委員会委員				

所属 歯科衛生科	職名 実習助手	氏名 廣岡 千鶴			
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		2009年12月5日 2010年10月23日	口演発表：口蓋床による義歯の疑似体験学習の試み 廣岡千鶴 山崎忍 吉田好江 玉木裕子 松田裕子 (歯科衛生士専任教員秋期学術研修会) 口演発表：高齢者理解のための義歯の疑似体験学習の試み 廣岡千鶴 山崎忍 吉田好江 玉木裕子 松田裕子 (第34回鶴見大学短期大学部保健学会)		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
口蓋床による義歯の 疑似体験学習の試み	共著	2010年 5月	2009年度歯科衛生士専任教員 秋期学術研修会報告集	廣岡千鶴 山崎忍 吉田好江 玉木裕子 松田裕子	135頁～144頁
高齢者理解のための義歯 の疑似体験学習の試み	共著	2011年 3月	保健つるみ 第34号	廣岡千鶴 山崎忍 吉田好江 玉木裕子 松田裕子	7頁～13頁
学会等および社会における主な活動					

所属	歯科衛生科	職名	実習助手	氏名	宮尾 奈々
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1	教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）				
2	作成した教科書、教材、参考書				
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2003年11月28日 2006年11月23日 2007年12月 8 日 2008年12月 5 日	□演発表：情報収集に関する実習の試み・エックス線写真の読影法・宮尾奈々、松田裕子（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会） ポスター発表：エックス線写真読影実習の一環としてのマウント実習 宮尾奈々、玉木裕子、佐野孝子、松田裕子（第1回日本歯科衛生学会） □演発表：エックス線写真読影実習のための視覚教材の検討 宮尾奈々、松田裕子（第31回鶴見大学短期大学部保健学会） □演発表：視覚教材を用いたエックス線写真読影実習の検討 宮尾奈々、玉木裕子、松田裕子（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会）		
4	その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
情報収集に関する実習の試み・エックス線写真の読影法・	共著	2004年10月	歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集	宮尾奈々、松田裕子	1頁～8頁
エックス線写真読影実習のための視覚教材の検討	共著	2008年 3 月	鶴見大学短期大学部保健つるみ第31号	宮尾奈々、松田裕子	5頁～10頁
視覚教材を用いたエックス線写真読影実習の検討	共著	2009年 6 月	歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集	宮尾奈々、玉木裕子、松田裕子	33頁～39頁
学会等および社会における主な活動					

所属 歯科衛生科	職名 実習助手	氏名 縄岡 葉子			
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
学会等および社会における主な活動					

所属	歯科衛生科	職名	実習助手	氏名	山崎 忍
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
2 作成した教科書、教材、参考書					
歯科衛生士ヒヤリ・ハットの事例と対策		2006年3月	歯科衛生士ヒヤリ・ハットの事例と対策、共著、口腔保健協会、松田裕子他監修 山崎忍、柴田義朗、鈴木俊夫、田村清美、吉田好江 予防処置論、臨床実習等の参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
		2004年6月26日	口演：「学生を対象にした手洗いとその意識について 手指汚染を視覚的に確認できる装置を使用して」 山崎忍（第28回保健学会）		
		2004年12月3日	口演：「学生を対象にした手洗いに関する教育法 視覚的に確認できる装置を導入して」 山崎 忍、中澤千賀子、松田裕子（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会）		
		2006年11月23日	ポスター発表：「学生の臨床実習におけるヒヤリ・ハットとその対策」 山崎忍、前盛好江、吉田真子、清田法子、玉木裕子、松田裕子（第1回日本歯科衛生学会）		
		2006年12月8日	口演：「歯科衛生業務とヒヤリ・ハット」 山崎忍、前盛好江、吉田真子、清田法子、玉木裕子、松田裕子（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会）		
		2007年11月30日	口演：「ヒューマンエラーと事故防止対策 日常生活におけるヒューマンエラーの認知的体験」 山崎忍、松田裕子（歯科衛生士専任教員秋期学術研修会）		
		2008年9月5日	ポスター発表：「臨床・臨地実習におけるヒューマンエラーの認知心理学的検討」 山崎忍、松田裕子（第3回日本歯科衛生学会）		
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
歯科衛生士ヒヤリ・ハットの事例と対策	共著	2006年3月	口腔保健協会	松田裕子他監修 山崎忍、柴田義朗、鈴木俊夫、田村清美、吉田好江	104頁～112頁
論文					
ヒューマンエラーと事故防止対策 日常生活におけるヒューマンエラーの認知的体験	共著	2008年5月	歯科衛生士専任教員終期学術研修会報告集	山崎忍、松田裕子	59頁～65頁
歯科衛生業務とヒヤリ・ハット	共著	2007年10月	歯科衛生士専任教員終期学術研修会報告集	山崎忍、前盛好江、吉田真子、清田法子、玉木裕子、松田裕子	61頁～68頁
学生を対象にした手洗いに関する教育法 視覚的に確認できる装置を導入して	共著	2005年7月	歯科衛生士専任教員終期学術研修会報告集	山崎 忍、中澤千賀子、松田裕子	1頁～9頁
学生を対象にした手洗いとその意識について 手指汚染を視覚的に確認できる装置を使用して	単著	2005年3月	保健つるみ（第28号）		23頁～25頁
学会等および社会における主な活動					

所属 歯科衛生科	職名 実習助手	氏名 清田 法子			
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
学会等および社会における主な活動					

所属 歯科衛生科	職名 実習助手	氏名 齋藤 美智恵			
教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					
学会等および社会における主な活動					